

「ガムガムファイター」

作・池田美樹

◆小郡英一 ……ラブホテル清掃バイト。元・広告代理店勤務。43歳。

◆小森田たま子 ……元・ラブホテル清掃バイト。排泄物を踏んで転んで死亡して一ヶ月。享年40歳。

◆竹内紅子 ……銀次の姉。前歯が全部差し歯の32歳。

◆坂上銀次 ……ラブホテル清掃バイト。アルファベットの読めない中卒イケメン。25歳。

◆野島茂子 ……英一の姉。46歳。

◆はじまり

赤いじゆうたん。

ホテルの廊下…らしきところ。

掃除用具を満載したカートを押す青年。

化繊のポロシャツ＋派手なレギンス、半ズボン。腰タオル。

そのうしろから、重そうな業務用の掃除機を抱えた中年の男。

青年とお揃いのポロシャツ＋ジャージ。腰タオル。

青年はうる覚えの歌詞の歌謡曲を適当に歌っている。

その気楽さと対照的に、かなり緊張している様子の中年男。

英一 あの。

銀次 俺ら、エレベーターは使えません。とにかくお客さんに会わないように。

英一 これ、抱えてくんですか？

銀次 ちょっと重いけど、慣れますよ。あ、きょうは俺が持ちます。

英一 ……ありがとう。

ゴージャスなドアをノックする青年。入室。

銀次 (部屋のあちこちを指差し確認しながら) シーツと枕カバーの交換、掃除機かけ、テーブルと鏡拭き、ゴミ箱の
ビニール交換、お茶パックと避妊具の補充、

英一 (熱心にメモっている)

銀次 トイレと洗面所の清掃、化粧品コットンと生理用品の補充…あと風呂場磨き。
英一 それをひと部屋、
銀次 15分以内で。
英一 …忙しいですね。
銀次 2人でやるんで。慣れたら早いっすよ。あ。(突然、男の足元にしやがみこむ)
英一 えっ??(即座に後ずさり)

青年、絨毯を爪で掻き分けて何かを拾う。

英一 あのう…
銀次 とにかく、毛は気をつけて下さい。
英一 毛??
銀次 一本でも落ちてると、超イメージダウンなんで。
英一 (眺めて)でも結構…
銀次 です。なんで、一本も。
英一 あ、はい。
銀次 じゃきよう俺、水周りやるんで、部屋お願いします。
英一 はい。

青年、バスルームへ。

引き続きうる覚えの歌詞で歌を歌っている。

男、シーツをひっぺがしにかかる…と、何かを発見。

英一 (浴室の青年を呼び)……あのう。
銀次 (水音+歌声)
英一 …あの……あの!…すいません!

歌声止まる。蛇口の閉まる音。戻って来る青年。

銀次 何すか。
英一 これ。
銀次 ああ。
英一 あの。
銀次 うんこすね。
英一 ……。あの。
銀次 きようは俺やるんで、鏡とかやって下さい。
英一 …よくあるんですけど、「うんこすね」。
銀次 ですねえ。
英一 なんでベツベツに。
銀次 いろいろあるんじゃないすか、人によって。
英一 でもひどくないですか。
銀次 そいうもん出すところですからね。
英一 え。
銀次 二」。。
英一 でも。
銀次 それ片付けんのが仕事ですから。
英一 ああ…
銀次 ……辞めるとしてもきようは頑張ってくださいね。代わりないんで。

英一 あや、大丈夫です！あ…
銀次 え。
英一 こつちにも。
銀次 (苦笑) 初日から大当たりっすねえ！
英一 くそ。
銀次 くそ？
英一 燃えてきた。
銀次 まじ？
英一 うん。
銀次 じゃ行くよ！ついて来れる？サラリーマン。
英一 元、だからね。
銀次 プライドないすか？
英一 ないね。
銀次 まじ？(おもしろそうに目、輝く)
英一 まじ。

銀次 じゃ行きまああす、入室！
英一 にゆうしつ！
銀次 ストップパー！
英一 ストップパー！
銀次 窓開け！
英一 窓開け！
銀次 風呂場！
英一 風呂場！
銀次 毛！
英一 毛！
銀次 バスタブ磨き！
英一 トイレ！
銀次 便器磨き！
英一 便器…毛！
銀次 フロア！
英一 毛！
銀次 うんこ！
英一 うんこ！
銀次 コップ！灰皿！
英一 シーツ！ガウン！タオル！(リネン袋に放り込む)
2人 ベッドメイキング！(二人で)
英一 15分！
銀次 退室！
英一 退室！

中年男・英一の「日常」の始まり。

■裏垢

英一 元・サラリーマン、なんかそれなりにうまくやって来た40男です。
広告代理店、地方だけどそれなりにバリバリやって、選」ば「なかつた、という理由で結婚してなくて、

女子① 小郡さんってちよつと違う、

女子② オジサンって呼べない、

女子③ なんていうか…年上のときめき？

英一 そんな言葉に刺激されたわけじゃないけど、ジムで鍛えて、私服にも気をつけて、誰に見せるわけじゃないパンツと靴下にも気を配って、

女子① 小郡さんってラインされてますか？

女子② ツイッターは？

女子③ インスタは？

英一 やってみようかな…をわれるままに始めて、いちばんしっくりきたのがフェイスブック、

女子① 昨日は「ちそう」までした、素敵なお店をご存知ですね！

声 いいね！

女子② 話聞いてもらって元気が出ました！

声 いいね！

英一 そして…ある日みつけた女子社員たちのツイッターの裏アカウント。

女子 コリ男うぜえ。

女子 コリ男サイテー。

女子 あいつカラオケ必ずミスル歌う。

女子 宴会のとき必ず料理の写真撮る。

女子 あと、やたら長いコメントして来る。

女子 コリ男。

女子 コリ男。

女子 コリ押し男。

女子達 うぜえ。

英一 え…これ俺のこと？

女子 おはようございますー！

英一 あ、おはよう、

女子達 おはようございますー！

英一 おは…おはよう……(笑顔がひきつる)

あれ？それからなんでかちよつとずつ不具合なことが起き始めて、

声 ちよ小郡君、聞いているか？

声 この数字おかしくないか？

英一 あ、すみません！

なんていうか歩くってどうやるんだっけ、右足出したら左を出せばいいんだっけ？

お茶でも飲もう、あれ？お茶ってどうやって入れるんだっけ？お茶っば、急須、湯のみ、どうすればいいのか混乱して、気付けば湯のみにお茶っば入れてた。こりやばいと思った。

ん？思った、あれ？俺ダメかもしんない。

声 いいね、いいね、いいね、

英一　んで、休職の限度まで休んで結局戻れなくて退職して、その間、心の支えになったのがこのフェイスブックの皆さんのコメント。そこでいっそ、まったく知らない土地でまったく知らない世界に踏み込んでみようと思ったのが、このラブホテルの清掃でした！

声　すごい挑戦ですね！

声　応援します！

声　勇気ですね！

声　いいね、いいね、いいね、

◆900人

英一　いつも「いいね」をありがとう。「いいね」、それは僕が見た光。キミが見た希望。(適當)

バイト2日目。ラブホ清掃の休憩室。

スマホを眺め、ニタニタと「コメントチェックし、返信している英一」。

銀次　(背後から)何してるの。

英一　わ、びっくりした。…フェイスブック。やってる？

銀次　(首振る)おもしろいの？

英一　おもしろいよ。昔の同級生と再会したり、外国の友達が出来たりする。

銀次　何人くらいいるの？

英一　え。

銀次　ともだち。

英一　900人かな。

銀次　すげえ。

英一　てか、ごめん、何だっけ。

銀次　え。

英一　名前。キミの。

銀次　坂上銀次。

英一　ぎんじ！本名？

銀次　(嫌そうに)ヤクザみたいでしょ。

英一　(気を遣って)…かっこいいね。

銀次　(苦々しく)かっこいいかな。

英一　好きじゃないの？

銀次　……すき。(いひひ)

英一　(安堵の笑い)…あ、俺、小郡英一。

銀次　どんな字書くの。

英一　あ、小さい、グン、あの地名の、何々グンっていうときの、グン。

銀次　ああ…(明らかに理解してない顔)

英一　ええ？

銀次　(いひひ…と屈託のない笑顔)

英一　あ、じゃついでに皆の名前教えて。

銀次　え。

英一　あの人は？ほら、くるくるパーマの小さい人。

銀次　やま…もとさん？

英一　じゃあの人？中指と薬指ではさんでタバコ吸ってる人。

銀次　やま…したさん？

英一 ……うろおぼえだね。
銀次 (いひひ)

英一 山本さんだか山下さんだか、職場の人たちの名前をうろおぼえのまま、一週間が過ぎました。てか、毎晩居た人がいなくなったり、突然新しい人が来てまた居なくなったりが日常な職場のようです。

声 いいね、いいね、いいね、

◆ジ-君

数日後。休憩室。雑誌をめくっている銀次。

銀次 わ。

英一 え。

銀次 ちよ、これまじかわいくね？

英一 誰。

銀次 これ。ほら、女優の…ああ、名前出てこねえ。

英一 ああ。

銀次 え。

英一 俺、こいつと仕事したことある。

銀次 は？

英一 うん。

銀次 まじで？なんで？ね、なんで？(蹴る)

英一 (その足を抑えて) 蹴らない。

銀次 なんで。(打つ)

英一 (その手をかわして) 打たない。仕事で。

銀次 何やってたの。

英一 え。

銀次 仕事。

英一 代理店。

銀次 だ・い・り・て・ん…(あきらかに理解してない顔)

英一 CMとかイベントとか作る。

銀次 すげえ！てかさ、かわいかった？

英一 まじ美人だった。でもすげータバコ。

銀次 えええまじ？シヨック！

英一 おまえ結構、

銀次 え。

英一 ミーハー？

銀次 うん、テレビ大好き。(いひひ)

英一 へえ。

銀次 俺さ、ものまねとかうまいよ。

英一 まじ？やっつて。

銀次 (すごいのをやる)

英一 (リアクシヨ)(いひひ)いつか出てもらおうかな。

銀次 CM？まじ？

英一 うん。

銀次 てか。

英一 え。

銀次 戻んの？仕事。

英一 そのうちね。

銀次 まじで？じゃ「」辞めんの？

英一 そのうちね。

銀次 えええええ？

英一 おまえ、かわいいな。

銀次 (リアクション)

英一 写真撮っていい？

銀次 え？

英一 載していい？フェイスブック。

銀次 まじ？ちよつと待って！…いいよ。

英一 …それがおまえのキメ顔？

銀次 早く。

カシヤ。

英一 (すぐさま入力)「これは同僚のG君。」

銀次 じー君。ゴキブリみたいじゃね？

英一 いいの。(ポキーン！コメント着信音)ほら来た！

声 イケメンですねえ！

声 もつとG君見たいです。

銀次 まじ？俺すごくくない？

英一 すこいすこい。あ、また来た。(ポキーン)

声 409退室されました。清掃お願いします。

銀次 あ、はい。じゃ山…さん、行こう。(名前うるおぼえ)

銀次と山…さん、清掃に。

ポキーン。続々と英一のスマホにコメント。

と、清掃のおばちゃんたちのガヤ、聞こえて来る。

声を掛けられないようにスマホに集中…しているゆりをする英一。

おば① 銀次君はもてらすもんねえ。

おば③ 焼きおにぎり届けに行つて、そのままベッドに引き込まれた「」もあつて。

おば② ばあーさしたと？

おば③ さすわけなかない！

おば② さすがにそれはね。

おば③ あたも気をつけななばい。

英一 え？(いきなり話題に取り込まれて驚く)

おば② 小郡さんは大丈夫よ。

おば③ なんで。

おば② そらもう…あら、あたいくつだった？

英一 40です。

おば① ならまだまだ現役たい！

おば達 ガハゲホゲハ！(下卑た大笑い)

おば② ばってん男も劣化すつとだろ、タマゴ。
おば① タマゴは女だろ？
おば② なら何ていうと？
おば① オタマ。
おば③ ばあ、お上品！
おば達 ガハゲホグハ！

英一 カッチーン！そう見られてるのか…と軽くショック。タマゴが劣化。またショック。

おば① てか、小郡さんてひとりもんね。

英一 あ、はい。

おば② あら、いくつだった？

英一 40、です。(なるたけ関わらないようにしながら、スマホをいじる)

おば③ よんじゆうで、ニコニコ。

おば① ニコニコ！

おば③ 訳ありたい、ねえ。

おば② うん、だいたい、顔が訳ありだん！

おば達 ガハゲホグハ！

英一 そつですか？

おば② ばってん、そがん顔しとると取り憑かるつばい。

英一 取り憑く。

おば① ラブホテルにつきものの、つきもの話。

おば② あたうまかこつ言っ！

おば達 ガハゲホグハ！

英一 多いんですか、そういう話。

おば① うん、自殺した女ととか、

おば② 殺された誰とかがととか、

おば③ 「たま子さく」とか。

英一 え？

おば①② あゝあ。

英一 たま子さん。トイレの花子さん、みたいなの？

おば③ バイトん人。

英一 え。

おば① 死なしたと。ニコニコ。

おば② 先月。

英一 せんげつ？？

おば③ 掃除中に転んで、頭打って。

英一 あたま？

おば② うん。うんこ踏んで、転んで、頭打って。

英一 うんこ！

おば① うん、うんこ。

おば② 男好きだったけんね、あたんこつも見とらすと思っつや。

おば③ たま子さく、新人さんばい！

おば① 独身ばい！

ガターン！と音。ラップ音的な。

英一 わ！

英一　「……？」

女の声　もうひとくち呑んで。

声　「……飲んで……」

英一　「言われるままに呑んでみる」

女の声　もつと感しながら呑んで……（たしなめるように厳しく）

英一　え？

見知らぬ中年女、現れる。

ギラついた表情＋サブカルっぽい、少し派手目の服装。

「声」たちも、「現世を羨むもの」のような視線で英一を凝視する。

たま子　呑んで。ほら！（厳しく勧める）

英一　（頑張ってうまさうに、喉を鳴らしながら呑んでみせる）

たま子　（同じく喉を鳴らす）

声　（同じく）

英一　え。

たま子　ああ……あたしも呑んだ。呑んだよう。（満足げに腹を撫でる）

英一　あの……

たま子　あつと……名前、

英一　……小郡・英一です。

たま子　そう、小郡さん。

英一　え。

たま子　あんおばさんたちの言うことなんか気にせんでよかけん。

英一　あの。

たま子　あん清掃のおばさんたちたい！タマゴん古か、とかおまえが言うなで。おまえんタマゴんそ、もうピータンの「つひからびとるぞで、て。」

英一　ピータン。

たま子　だけん、いちいち律儀に聞かんちゃよかけんね。

英一　ありがとうございます。てか、え？

たま子　（にやり）

英一　あの。

たま子　あ、はい、先程話題に出ておりました、

英一　え。

たま子　うんこ踏んで死んだ、小森田たま子です！

声　いよっ！

声　小森田！

声　日本ー！

声たち、お囃子のようにたま子を応援。

英一　えっ？えっ？えっ？

たま子　どっも〜。

英一　俺、そういうアしじゃないんですけど！すがられても困るんですけど！

たま子　あたしもなんで「」おるかわからんとぼつてん。

英一　え。

たま子 あんね。

英一 はい。

たま子 あたし人生で一回も後悔したことなかと。

声 悔いなし！

声 うんこ！

英一 はあ。

たま子 あがん死に方も、アリっちゃアリかな、て思うとととと。

英一 さすが。

たま子 ばってん、いろいろあるね。こん前、身内がアパートば片付けに来てやらしたとばってん、

英一 片付け。

たま子 いや、自分じゃ片付けられんけん。(「手」が実在しないことを示す)

英一 あの、

たま子 いや、死ぬとか思とらんけん、いろいろあつたとよ。洗つとらんパンツは洗濯機に入るとるは、はつかしか本は

並んどるは。

英一 はつかしい本。

たま子 いろいろあつたい。タカユキおじちゃんの、「はあ、たま子は」て言わしたときはもう…死の「たった。…って、死んでるんですけどね。

声 おそまつ！

声 おだぶつ！

英一 はあ。

たま子 てか、こん部屋、なーんもなかない。

英一 引つ越して来たばっかりなんで。

たま子 なら今から。

英一 ですかね。

たま子 考えとつたがよかけん。

英一 肝に銘じます。

たま子 あー、ごめんごめん、話し過ぎた。ビールの気の抜くつね。

英一 あ。

たま子 呑んでのんで。

英一 (喉を鳴らして呑んでみせる)

たま子 (悶える)うまから？

英一 ですね。

たま子 ええねえ。

英一 え。

たま子 んならね。

英一 え？

たま子、英一の視界から消える。

英一 ？

目覚まし音。

英一 おはようございます！今朝は愉快な夢を見て目が覚めました。きょうもシヤキツと頑張りましょう！

声 いいね、いいね、いいね、

◆姉弁

銀次 たま子さんの夢？

英一 うん。

銀次 でも小郡さん、会ったことないよね。

英一 いろいろ聞いちゃったからね。ま、俺の勝手な想像？

銀次 ええええ、俺も会いたい。(蹴る)

英一 (かわして)蹴らない。

銀次 俺、めっちゃ可愛がってもらったの。

英一 へえ。

銀次 汚い仕事変わってくれたり、お正月にお年玉くれたり。

英一 へえ。

銀次 あと。

英一 うん。

銀次 俺、お客さんに殴られたことがあるの。

英一 まじ？

銀次 「ゴリ、ゴリ」ともろ「し君」頼まれたのに間違えて、

英一 とつもろ「し君」？

銀次 大人のおもちゃ。あ、(形状の説明)

英一 んで？

銀次 んで間違えて、「ぶ」といマッチョ君」持ってっちゃって。あ、(形状の詳細な説明)

英一 んで？

銀次 そしたらお客さんめっちゃキレて、

英一 ボカッて？

銀次 いや、ボカッ、ドスッ、ゲボッて。そしたらたま子さんが怒鳴り込んで、「銀次、謝らせな！」って。鼻血
だらだらで。

英一 うわあ…

銀次 いのしみたいな人でした。

英一 褒めてる？

銀次 うん。あと、1回だけ呑みに行ったら、

英一 うん。

銀次 はだか見たいって言われた。

ガターン！(何かが倒れる音)

英一 ？？？(たま子の気配を感じて下キドキ)

銀次 あ、これ内緒だった。でもいいね、もう死んじゃったから。

英一 そ、そんな人だったんだ。

銀次 たま子さーん。(空中に向かって)

英一 ？？？

銀次 この人新人さんです！よろしくです！

英一 やめて。まじやめて。

銀次 てか、今のうちに「はん食べとかないと、ピーク来るよ。

英一 ピーク？

銀次 きょう満室だし、あと2時間もしたら一気に入れ替わるから。

英一 あ、うん。(カバンからコンビニ袋を取り出し、おにぎりと缶コーヒーを)
銀次 (カバンから弁当袋を取り出し、おかずたっぷり弁当を) いただきます。

英一 …え？
銀次 ？

英一 おまえ、弁当なの？ ……え、彼女？ (冷やかすように)

銀次 俺、彼女いたことない。(食べながら)

英一 まさか、その顔で。

銀次 顔、関係ある？

英一 (一瞬考えて) ……あるでしょ。

銀次 まじ、ない。

英一 え？ じゃその齢まで女の人ときあつたことないってこと？

銀次 それはない。(バカにしたように笑う)

英一 だろおお？

銀次 でも彼女いたことないのはほんと。

英一 どういうこと？

銀次 (箸の手を止め、英一に向き直り、真面目に) あね、俺、連れて行かれるの。年上の女の人に。

英一 年上？

銀次 (真剣に) うん、40歳とか50歳とか。俺、初めての相手36歳だった。

英一 おまえはいくつだったの。

銀次 (深刻に) じゅうご。バイト先の人妻でさ、連れて行かれたの。

英一 どうして。

銀次 (困惑気味に) その人の家。

英一 そいで？

銀次 ……なされるがまま。(思い出しエロ悶え笑い)

英一 (ひっぱたく)…話を戻すよ。じゃその弁当は、

銀次 ねえちゃん。

英一 え。

銀次 俺の、ねえちゃん。うち来る？

英一 え。

銀次 きよつ、うち来る？ ごはん食べてけば？

英一 え。

銀次 ねえちゃんの料理、まじうまいよ。別名・男殺しのごはん。

英一 ……？

◆紅子

紅子 わあ、えいいち君？

銀次のアパート。

「チャラッ」と音のする玉のれんの向こうから、愛玩犬のような眼と髪型の女・紅子、現れる。
そのあいにくの瞬間、息を呑む英一。

英一 え。

紅子 いつも話聞いている聞いてる！ わあ、思ったよりずっと若い！

英一 (慌てて頭に巻いたタオルを外し、髪を整える) どんなイメージだったんですか。

紅子 なんかもっと、「ザ・中年」って感じ？

英一 そりゃあひどいなあ。(銀次をつねり上げる)

紅子 さ、ごはんごはん！

紅子、何の躊躇もなく英一の腕を取り、食卓に座らせる。

「いつもの席」に座る銀次。

紅子、玉のれんとテーブルをかがいしく行き来して、「おはあちゃんの作りそんな惣菜」を次々に配膳していく。

銀次 姉ちゃんの歯、みた？

英一 うん。

銀次 キレイでしょ？

英一 うん。

銀次 差し歯。

英一 え。

銀次 前歯、全部差し歯(笑)

紅子 折られたの？

英一 だだだ誰に。

紅子 歴代のカレシ。うふふ。

英一 そう笑うオネエサンは、なんだかとてもあどけなかった。

紅子 きょうは肉じゃがだあ！

銀次 いえい！

英一 鍋のまま出る料理、どん！マヨネーズがどん！箸立てがどん！…それすらかわいい。

質素ながらずらりと並ぶ晩ごはん。

紅子 いったただつきまーす！

銀次・英一 いただきます。

紅子 ね。

英一 え？

紅子 …ちよつとだけ、迷惑かけてよか？

英一 え。

紅子 お酒呑んでよか？

英一 大歓迎です。

紅子 えいいち君は？

英一 いえ、俺は。

紅子 りようかあい。銀は？

銀次 俺、ファンタ。

紅子 はい、ファンタと金麦、入りまーす！

紅子、玉のれんの向こうへ。

英一 (肉じゃがをひと口食べて絶句)うま！

銀次 どう？男殺しのごはん。

英一 これを毎日食べてるなんて羨ましいよ。

銀次 食べにくければいいの。毎日。

英一 え？

「炭酸を讀えるテーマ曲(適當)」を歌いながら、発泡酒とファンタを掲げて戻ってくる紅子。

紅子 では、ご迷惑かけます。
英一 いえいえ。

しゅぼ。

紅子は発泡酒、銀次はファンタグレップをぐぐつと呑み、「炭酸感」に身をよじる。

紅子 ああ…どがんどつたらか、これは！

銀次 得体が知れねえ！

英一 (笑) 熊本弁、いいですよ。

紅子 えいいち君はどこなの？

英一 北九州。

紅子 あゝこわいところだ。

英一 偏見(笑)。

紅子 「なんしよんかちや」とか言うでしょ。

英一 言うついう。

銀次 かちや？

紅子 そう！きさん、何しよんかちや！いや、なんもしてないかちや。(適當)

英一 あいくるしいい！…そんな言葉がぴったりのその人の名前は、

紅子 紅子。口紅の紅。うふふ。ねえ、熊本すき？

英一 いいところですね。

銀次 でもまた戻るんだよ。

紅子 かちやの国に？

英一 あ、はい。

紅子 いつ？

英一 仕事が決まったら。

紅子 仕事？

英一 いずれは元の仕事に戻りたいな、って。

紅子 なあんだ、いなくなっちゃうのか。

英一 ズキユン。やばい。落ち着こう。…あの、「ご家族は、他に」。

紅子 おばあちゃん。でも死んじゃったの。おとし。ね！(銀に)パチンコとお酒が大好き。たいへんだった。ねー！

英一 じゃ今、

紅子 二人暮らし。きょうだい暮らしなんです、このばかちんと。うふふ。

英一 なんだらう、この「3月のライオン」感。わかりやすく言うと、おいしいアットホーム感。やばい。いい方向に、やばい。

銀次 俺、寝る。

英一 えっ。

紅子 銀、歯磨きして。

銀次 した。

紅子 うそ。

銀次 (なんか適当にいいわけしながら台所に行き…歯磨きする姿を見せて出て来る)い、

紅子 見せんでいい、

銀次 いゝ磨いた歯を見せながらふすまの向「つ」に

紅子 はあい、おやすみ、ばかちん。

ふすまを閉める音。

ほろほろと酔っている紅子、ふつと英一に向き直る。

紅子 うふふ。

英一 (どきまき)へ、紅子さん、お仕事は。

紅子 レ「ジ」。(熊本弁のアクセント)

英一 れ「じ」。(音色につられる)

紅子 スー「パー」の。(同右)

英一 スー「パー」の。(同右)

紅子 高校卒業してから18年、ずつとおんなじスーパー。うふふ。

英一 18歳+18年、即座に計算してしまった。

紅子 えいいち君てき、なんか芸能事務所に勤めてたんでしょ？

英一 え。

紅子 銀が言ってた。すごいよねえ。なんだっけ、だ、だい、だいいり…

英一 「うろおぼえきようだい」そんなタイトルが頭をよぎった。

紅子 かつこいいよねえ！なんか背広着て仕事する人ぜんぶ頭よく見える。

英一 それは違うな。

紅子 あたしね、懂れてたの。

英一 何に？

紅子 背広着てゝ仕事する人と、ふつうに結婚してゝ、ふつうの家に住む。

英一 え。

紅子 でも現実はず、「ザ・竹内力」…の半分、みたいな人と結婚。二回も。

英一 二回…にかい？？

ど「」からともなく、ガターン…

英一 ……？？？

紅子 銀！ちゃんと寝て！寝相わるいの。こどもみたいでしょ？

英一 (たま子の気配を感じて)キキキ

紅子 (英一に向き直り)うふふ。

英一 (下キキ)

紅子 銀は真面目。手が抜けない。顔、かつこいいでしょう？でも中身はたっさいの。コウムインみたいなもの。

いろんな人に、いろんなとこに連れて行かれて、言われた通り、はいーはいーはいーって。で、怒られる。なんでだろうね、手抜かないでやっただけなのにね。

英一 ……

紅子 ふぁ…(世にもあいらしいあくびひとつ)

英一 (下キキ)

紅子 ちよつとだけ「がんするね。(テーブルに突っ伏す)

英一 ……あ、はい。

紅子 (はつと起きて)あ、でも眠らんけん！

英一 あ、はい。

紅子 (とろとろと突っ伏す)

英一 ……

紅子（ちらりと片目を開けて）……起きるとるけん。
英一 はい。

紅子 ……寝とらんけん。（とろとろと眠りの世界へ）
英一 ……はい。

静かに寝息を立て始める紅子。

英一 ……昭和のにおいのする古いアパート。台所からは、蛇口のしまりが悪いのか、定期的に水滴の落ちる音がする。ふすまの向こうから銀次の軽いいびきが聞こえる。

もう充分大人のきょうだいがかんな狭いところで2人暮らし。あどけない顔立ちのこの人の、うすく浮いたほうれい線が、なんだか妙に艶っぽく見えた。

畳を踏む音に気をつけながら、俺は部屋を後にした。

◆じゃがりこ

声 すたすたすた、

声 た、た、た、た、

再び夜の帰り道。

英一 道すがらコンビニに寄り、

声 ピロリロリローン（自動ドア開く音）

声 いらっしやいませー（店員）

声 セブーン（イメージ）

英一（ビールを購入）

とびこからか、声。

たま子 じゃがりこも。

声 こも…こも…こも…

英一 え？

たま子 じゃがりこ買って。

声 うて…うて…うて…

英一 え？

たま子 じゃがりこ。

声 がりこ…りこ…りこ…

英一 じ…じゃがりこ。これですか？

たま子 違う！その隣！九州しよゆ味！

声 あじ…あじ…あじ…

英一（思わず手に取る）

レジのおお田デス。（浅黒い肌の店員）

英一 ……買うつもりになかったのにいつのまにかレジに出していた。慌てて支払い

レジアリガツゴザーイマスイタ。(片言)

店を出る英一。

声 すたすたすた、

声 ひた…ひたひたひたひた、

あきらかに背後から怪しい足音。
振り切るように、

声 すたすたすた…すたすたすたすた。

声 ひたひたひた…ひたひたひたひた。

足音を撒くように早足で。

声 すたすたすたすたすたすたすたすたすたすた。

声 ひたひたひた…ひた？

追って来る足音、迷い道に。

ここぞとばかりきびすを返し、小刻みの急ぎ足で家路を。

声 すたすたすたすたすたすたすたすたすたすたすたすたすた！

英一 一家に戻ると！

声 郵便受け！(チエック)

声 にゃー！(横の扉に猫)

声 ガチャ！(ドア開ける)

声 ぱちん！(電気つける)

声 ぱたん…！(ドア閉じる)

英一 はあ…(安堵のため息)

と、

声 ひたひたひた…ひた。

ドアをすり抜けて、たま子。

英一 (凝視)

たま子 (しばし室内を眺め……かつと英一に向き直る)

英一 (凝固)

たま子 食べて。

英一 えっ。

たま子 じゃがりこ。

英一 (恐る恐る怖るフタをはがし、ボソボソと食べる)

たま子 (手厳しく) 違うーもっとポリポリして！
英一 は。
たま子 もっと小刻みにぼりぼりして。
英一 (ポリポリポリポリ)
たま子 ちがーうー！(糾弾するように厳しく) もっとガリガリ、脳で嘔む感じで！
英一 (意地になってやってみせる) ガリガリガリ！
たま子 ガリガリガリガリ！
英一 ガリガリガリガリ！
たま子 (その熱演に、自分も食べた気になる) ああ…うまかろ？
英一 (熱演による荒い息) ですね。
たま子 ええねえ。
英一 (荒い息)
たま子 ……ね。
英一 (息止まる)…はい？
たま子 あたしの名前、検索してくれん？
英一 は？
たま子 なんか事件とか起こしたらんかなて。
英一 事件。
たま子 あたし、なんか、たーいぎやらかした気がすつと。ばつてんそつが思い出さんと。
英一 (怯えの凝視)
たま子 ……何？
英一 いや…怖い人だったらいやだなって。
たま子 あたしもいや。ほら、早う調べて！
英一 (大慌てで) 小森田たま子「もりたたまこ」もりたたまこ…あ！
たま子 何??
英一 スキージャンプ・ジュニア大会優勝。
たま子 えええ？
英一 あ、小森田・たま子さんだった。11歳。新潟。
たま子 くそ！殺す！取り殺す！
英一 ちよ、ちよと待って下さい、小森田「もりた」もりた…あ！
たま子 何？
英一 新鮮とれたて・養鶏場。小森田、
2人 タマゴ。
たま子 殺す。
英一 待って！こもこもこも…
たま子 (鬼の形相)
英一 と、特に…みつかんないみたいです…
たま子 (吐き捨てるように) つまらん人生ばい。
英一 え。
たま子 ネットのどこにも名前がにやあとよ。
英一 いや、そんな…
たま子 まだ間に合うかな。
英一 え。
たま子 何かしようかな。
英一 成仏しましょうよ、静かに！
たま子 (凝視) ね。
英一 (下キツ) えっ。
たま子 もっかい食べて。

英一 え？

たま子 じゃがりこ。

英一 (ポリポリポリ)

たま子 ちがーう！もっと、ガリガリ脳で嘔む感じで！

英一 (熱演再び)ガリガリガリガリ！

たま子 (自分も食べた気になって、うっとり)あぁ…うまから？

英一 (荒い息)ですね。

たま子 ええねえ。

英一 …

たま子 んならね。

英一 ????

◆いしし

声 213退室されました。清掃お願いします。

銀次 入室！

英一 にゅっしっ！

銀次 ストップパー！

英一 ストップパー！

銀次 窓開け！

英一 窓開け！

銀次 風呂場！

英一 風呂場！

銀次 毛！

英一 毛！

2人 よし！

銀次、次の清掃へ。

休憩室。タバコを吸ったり、化粧を直したり、背中を掻いたりしながら健康話と噂話に花を咲かせているおばちゃんたち。

英一 きょうもおおばちゃんたちはかましい。すんごく勇気が要るけど、思い切って聞いてみた。
あの。

おば達 (一齐に英一を見る)何ね。

おば② 飴食へる？

おば③ みかんやるか？

英一 (全て受け取りながら)たま子さんって、何歳だったんですか？

おば① ああ、

おば② 40だろ？

おば③ いや、あかん見えて30前半、

おば① そらなかばい、服装は派手かったばってん、

おば② 派手ていうか奇抜。

おば③ そう！変わったとびした。

英一 …どんな風に？

おば① 強かったね。

おば② うん、強かった。

おば③ 力持ち。

おば① なんか学生時代、プロレスしよらしたっだろ？

おば② 柔道じゃなかった？

おば③ カポエラだろ？

おば① 大体、ここに来る前はあつだろ、

おば② 植木屋。

おば③ あら、看板屋じゃなかった？

おば① 看護師で聞いた気がする。

英一 うろおぼえですね。

おば① そうそう、なんでんうろおぼえたい。

おば達 ガハゲホグハ。

銀次 花屋さん。

銀次。

英一 え？

銀次 花屋さんに勤めてたんだって。その前は洋服屋。

英一 そうなの？

銀次 続かないんだって。ケンカしてやめちゃうんだって。

英一 …いのししだね。

銀次 うん、いのしし(笑)。てかなんで。

英一 あや、同世代だからね、気になって。

銀次 …小郡さん、きょう予定ある？

英一 ん？

銀次 姉ちゃんが、またごはん食べに来ませんかって。

英一 えええええ？(浮かれた中年リアクション)

◆みぞれ鍋

紅子 きょうはみぞれ鍋だあ！

食卓。

英一 みぞれ！

銀次 ぐつぐつ！

やや緊張しながら、「この前と同じ席」に座る英一。

紅子 きょうも…ちよびつと迷惑かけてよか？

英一 あ！じゃきょうは俺も迷惑かけちゃうかな。

紅子 まじっ？ビールでいい？

英一 あ、はい！銀次君は、

銀次 ファンタ。

紅子、冷蔵庫へ。

「炭酸を讀えるテーマ曲(適當)」を歌いながら、発泡酒とファンタを掲げて戻ってくる紅子。

紅子 では、ご迷惑かけます。

しゅぽ。

3人 かんぱーい！

英一 ああ…！どがんどつだろか、これは！（炭酸感）

紅子 わ！熊本弁！

英一 …合ってますか？

紅子 合ってるあってる！

英一（認められ褒められ、中年丸出しの笑顔）

みぞれ鍋を食べ始める3人。

銀次 なめたけ食べるとそのままうんに出てくるよね。

紅子 ごはんのときうんこの話禁止！

英一（衝撃の旨さ）お、おいしいです！

紅子 よかったあ、うふふ。

銀次 小郡さん、いつもコンビにおにぎりだもんね。

紅子 まじ？

英一 あや、ちゃんと食べるときはちゃんと、

紅子 ちゃんと？

英一 やよい軒とか、吉牛とか。

紅子 かちやーん。（箸を置く）

銀次 かちやーん。（同右）

紅子（向き直って）だめた。

英一 え。

紅子 それはだめた。それではだめた。

英一 え、全否定？

紅子 決めた！ねええいいち君。

英一 はい。

紅子 今後、いつでもうちに来て。一緒にごはん食べよう。

英一 え。

紅子 いいの、2人分作るのも3人分作るのも一緒！

英一 でも。

紅子 さしがでましいかもしれないけど、やらして。

英一 え。

紅子 さしがでましいかも、しれないけど。初めて使った…

銀次 頭いい！

英一 さしでがましい、とかもうどうでもよかった！ただただ、あいくるしい！

銀次 ファンタおかわり。

紅子 自分でしなっせ。てか、あんたグレープばっか飲んで、あのオレンジどがんすっつとっ姉ちゃんもう甘かと飲みきり
んよ！

銀次、玉のれんをくぐって台所へ。

紅子 (英一に向き直り) うふふ。

英一 (トキッ)

紅子 珍しかと。

英一 え。

紅子 銀が職場の人の名前覚えるの。それが嬉しかと。

英一 じゃ払います、ごはん代！

紅子 いいよ。

英一 でも。

紅子 じゃ、じゃいようか。

英一 じゃい。

紅子 指きりごっこ。えいいち君が、もっかい背広着る仕事に戻ったら、ごはん代払ってまほう。……って、ごほう。

英一 でも戻れなかったら？

紅子 戻れなかったら……

英一 ……………

紅子 ……大晦日、うちの大掃除手伝う！

英一 (その言葉の温度に、泣きそうになる)

紅子 どうしたどうした、えいいち君！

英一 いえ！(ごまかすようにみぞれをすする)

紅子 (その姿をしばし眺めて後) ……ねえ、オセロやろう！

英一 お…オセロ???

紅子 ごはん終わったらオセロやろう！ねえ銀、まだあるよね、オセロ。

銀次 (台所から戻って来る) あれ、ばあちゃんが捨てたんじゃやない？

紅子 捨ててない！ある、押入れに！

紅子、隣の部屋に。

英一 ……温泉みたいな人だね。

銀次 え。

英一 お姉さん。

銀次 のぼせないでね。姉ちゃん、人妻だから。

英一 ……え？

銀次 まだ別れてないから。

英一 そ、そうなの??

銀次 キしるとめっちゃ怖いの！見た目、「竹内力の半分」みたいなのに。

英一 旦那さん？

銀次 うん。

英一 なんでそんな人と。

銀次 (吐き捨てるように) ほっとけないんだって！ほっとけばいいのにね！

紅子 あった！あったよ、銀！でも届かない！

銀次 えええ？

銀次、ファンタをひと口飲んで隣の部屋に。

と、すたすたとたま子、登場。

英一 え？…え？

たま子 ふがふが……ふがふが。(みぞれ鍋の匂いを…嗅げないけど、嗅ぐ)

英一 ああ…

たま子 うまからろ？

英一 で、ですね。(食べる)

たま子 ええねえ…ちよ待てい！(激しい制止)

英一 えっ？

たま子 おまえ今、肉だけ食うたろ？

英一 あ、はい、

たま子 よく見ろーこれみぞれ鍋だー選抜メンバーは、大根おろし、豚バラ、レモン、このみっしか、いや、「しか」ではない、みっつ」のみ」使ったことにこだわりがあるんだ！だからみっつ合わせて食べるんだ！

英一 はあ、

たま子 まずは大根おろしのだしの風味が来て…その後、レモンの酸味が追っかけてくる…！

英一 (言われるままに「みっつ」を同時に食べる…と、驚きのハイモーター)！

たま子 うまからろ？

英一 はい！

たま子 …ええねえ。

英一 (リアクション)

紅子 そう、その石鹼の箱の横…

銀次 これ？

紅子 ちがう、それはばあちゃんの…

たま子 てか、かわいかねえ。(紅子を指差す)

英一 ですね。

たま子 かつさいますか。

英一 え。

たま子 連れて帰りますか、かちやの国に。

英一 いや、そういうんじゃないから、まだ、

紅子 あったあ！

たま子 まだ！(からかう)

英一 いや、だから…

たま子 ならね。

英一 …ええ？？

たま子、消える。

紅子・銀次、戻って来る。

紅子 あったーほら、オセロ！

銀次 姉ちゃん、ほーり！

紅子 あたしこう見えても強いよう。角から取っちゃうよーさ、銀、並べて！

銀次 よし…：…てか、これ並べるとかの奴だっけ？

紅子 並べるでしょう、将棋でも何でも、最初は…

英一 いえー最初は白しろ、黒くろの、よっただけ。これでスタート。

2人 おおおお。(ひびく感心する)

英一 ええええ？

紅子 じゃあだし、白！パチン、くりん！(ひっくり返す)

銀次 じゃ俺、黒！パチン、くりん！
英一 (いきなり始まり、混じれない)あ、
紅子。パチン、くりん！
銀次 手詰まりか…
英一 え、いや、そのそ、
銀次 あ、パチン、くりん、

低レベルの勝負、続く。
パチン。パチン。
それをほほえましく眺めながら、英一。

英一 「人生はオセロみたいだってしばしば思います。
黒ばかり並んでしまった、と思っけていても、たつたひとつのパチンで、全部白にひっくり返ることもある。だから
あきらめきれない。生きていこうと思えます。」

声 いいね、いいね、いいね、
「いつもの帰り道」を、スキップしたいような気分で歩く英一。
と、電話。

◆コラム依頼

後輩 コラム書いてもらえませんか？
英一 え？
それは代理店時代の後輩…だった男。独立してバリバリ仕事をしている。

大げさで、軽い。
絵に描いたような「バブル期のチャラ男」のしゃべり方をする後輩。
かつての英一のしゃべり方でもある。

後輩 経済専門サイトのコラムなんですけど、8000字で1万円、月2回。金額がアレで申し訳ないんですが。
英一 いいけど…何を？
後輩 俺、小郡さんのフェイスブックの日記のファンで…
英一 え。
後輩 元バリバリの企画マンの底辺日記。めっちゃ興奮して読んでます！
英一 ていへん。

声 イラ！
後輩 挑戦だなんて！いや、冒険だなんて！勇気もらう人、いっぱいいると思います。
英一 俺に、出来ることな、ひ。
後輩 ありがとうございます…！

英一 来たあ！ちょっとカチンと来たけど、来た！オセロひっくり返った！8000字のエッセイくらいちゃちゃっと書けた。

初日から大当たりつすねえ。
相手の若者が言った。

僕の仕事はラブホテルの清掃。
その1日目に出会ったのは、ベッドの上のうんこでした。
うんこ。

人は出す生き物。

汗を涙をいろんな汁を。

その出てしまうものをコントロールするのが人間の品格、それを思う存分出す場所がラブホテル。
そしてそれを清掃するのがぼく達の仕事。

コラムを目にした人々、ぐっと引き込まれる様子。

と、電話。

後輩 まじおもしろいです！欲しかったの、これです！

英一 ……おー、よかった。

後輩 いろいろ大変ですか？

英一 え。

後輩 金とか仕事内容とか。

声 イラ！

英一 (可立ちをこまかすように) いや、新鮮だよ。いろいろ。

後輩 なんか…俺ら昔は無敵だったですよねえ。

英一 え。

後輩 いろいろ思い出しちゃいました。別件で相談したいこともあるんで、また相談させて下さい！

英一 よろしく！

しばしの間。…と、たま子。

たま子 無敵。

英一 うん、無敵だった。てか、無知だった。

バブルの名残のブンブンする業界若手呑み会。

声 え〜じゃいずれば独立するのな？

英一 いつまでもサラリーマンじゃないうつしよ！

声 だよね〜。

声 印税生活とかいいよなあ。

声 小説とか書いて？

声 直木賞とか取って？

声 老後はバリ島に別荘買って？

声 ついでに若い女の子も飼って？

声 ひゅ〜。

英一 ……つてのを、夢で終わらせちゃだめつしよ！

声 さすが小郡さん！

声 あ、カナちゃん、ミニテキーラおかわり！

声 ひゅ〜。

たま子 だめっしょ。(真似)
英一 やめて。

たま子 みんな元気しとらすとっ

英一 ひとりはなんとか部長に出世。だけど不登校の「ご」も抱えてひいひい言うてる。もうひとりは実家の酒屋継いで
「ゴ」の店長してる。もうひとりは……「ご」に居るんだろっ？そしてもうひとりは……

たま子 ラブホの清掃。

英一 あははは……恐ろしい。俺抜けるから！絶対抜けるから！

たま子 頭の毛が抜けるのとこの生活から抜けるの、どっちが早いでしょ大会〜！

英一 ネガティブやめて。俺すぐスイッチ入るの。まじやめて。

たま子 (リアクション)

英一 よおし、書く！「ご」から抜ける！

声 いいね、いいね、いいね！

◆コラム

英一 コラムの評判は上上だった。てか銀次というだけでネタに困ることがなかった。
その1、「名倉さん」

銀次 (拭き掃除しながら「ゴ」で俺さ、前さ、ピザの配達やってただけだよ、ある日「名倉さん」って名前の時から

注文があつたの。

英一 (同じくしながら)うん。

銀次 でもどんだけ探しても「名倉さんち」みつかんないの。ピザ冷めちゃうよ〜って思ってもつかい確認したら、

英一 うん。

銀次 (めっちゃ嬉しそうに)「ダグラス」さんだったの。(めっちゃ嬉しそうに笑う)

英一 え。

銀次 怒鳴られた。全額弁償。(更に愉快に笑う)

英一 屈託がない。まったくない。そんな彼はアルファベットが読めない。漢字も読めない。ついでに新聞も読まない。
その2、「オーガニック」

声 (廊下まで響く女性のあえぎ声)

英一 (掃除しながら)すいね。

銀次 あれ、絶対男が生まれるね。

英一 え？

銀次 知らんと？女のオーガニックがすげえと男が生まるるとばい。

英一 オーガニック。

銀次 (俗っぽく偉そうに)女の人が、イクときのたい。

英一 正解はオーガズム。彼は常にうるおぼえ。いろんなことを、うるおぼえ。

コラムはフェイスブックの日記から飛べるようにリンクを貼った。たくさんの人が読んでくれた。

声 笑いながら切なくなりました。

声 こんなにイケメンなのに、残念。

声 現代教育のひずみでしょうか。

声 またG君ネタお願いします！

声 いいね、いいね、いいね、

その周囲をぐるぐると歩いているたま子。

英一 そしてある日、フェイスブックを立ち上げて…絶句した。

声 坂上銀次さんからリクエストが届いています。

英一 え…え？

◆申請

休憩室。おばちゃんたち、ワイワイ。

銀次 (スマホと格闘している模様)

英一 (目を合わせないように)お疲れ様です。

銀次 お疲れ様です。(にやり)

英一 な、何？

銀次 始めた。(にやり)

英一 え。

銀次 フェイスブック！届いた？リクエスト。

英一 あ…いや、まだ見てない。

銀次 ねえ。

英一 え？

銀次 写真撮って。(スマホを渡す)

英一 え。

銀次 載せる用。(ふざけた顔)

英一 その顔でいいの？

銀次 うん。(ポーズキープ)

英一 (カシヤ。スマホを返す)

銀次 ねえ。

英一 え？？

銀次 これ、ここに載っけんの、どうすればいいの？(渡す)

英一 あ、ああ。(操作してやる…返す)

銀次 おお…で、

英一 え？？

銀次 どうやったたら友達になれるの？

英一 え。

銀次 小郡さんと。

英一 あ、ああ…(自分のスマホを取り出して画面確認)おお、来てるきてる。俺、承認。(送信するしぐさ)

銀次 (画面確認)おお！友達…！ともだち！(そのシステムに感動)

英一 ……

銀次 じゃさ！もつと友達探すにはどうすればいいの？

英一 そこに「友達を検索」って欄があるだろ？そこに適当に知り合いの名前入れる。

銀次 (トライ)むつかしやー！

英一 むつかしやー？(笑)

銀次 うん。わ！

英一 え？

銀次 坂上金次って名前の人がいる！群馬県・67歳。

英一 知り合いを探せよ。

俺はドキドキしていた。俺の…あの文章を読んだのかどうか。
お、俺のページ見た？

銀次 見た見た見た！ほんと900人友達いるんだね。

英一 ……コラム読んだ？

銀次 コラム？

英一 あや、俺が仕事で書いてる…

銀次 (探し出して)あ、これ？

英一 ……あいや、大したことないから！見なくていいから！

銀次 お！

英一 え？

銀次 (画面を凝視)

英一 あ、あの…

銀次 ……

英一 あの…

銀次 ……漢字ばかりだね。

英一 え。

銀次 今度ゆっくり読む。…ごめんね。

英一 いやいや、わざわざ読まなくていいから！

声 319、退室されました。清掃お願いします。

銀次 あ、じゃ山…さん、行こう。

銀次、退場。

どっと疲れる英一。

と、電話。画面見ればし躊躇…の後、出る。

◆電話

茂子 あんた元気しとんね？

英一 ……

茂子 もうふた月、振込みないんやけど。

北九州・小倉弁の、暗い声の女。

英一 ごめん。

それは姉。姉は認知の進んだおふくろを3年、介護していた。でも去年、

茂子 もおおう、持たん！うちにはうちの家族があるんやけ。

英一 ……

茂子 そうやってすぐ黙る！あんたいよね、なーんも抱えとらんだから。

英一 なんか、施設とか。

茂子 相く当お金要るんよ。

英一 俺、出すよ、半分。

茂子 はんぶん？

英一 ……

茂子 金はあるんやろ？ひとりで、なんも抱えとらんでから。

英一 じゃ…三分の二。

おふくろはグループホームに入った。

声 ちゃんとして。

声 英一…英一！

幼い頃からキリキリと緊張していた姉を思い出す。

声 おとなの人に会ったらちゃんとあいさつしよよ。

声 洋服の襟、ちゃんとしい。

声 塾、遅刻せんでよ。

英一 おやじは転勤族。行く先々の団地で暮らした。団地の暮らしは楽しい…けど、めんどろもいろいろあった。

声 英一…英一！

英一 なん？

声 ちゃんとしとこう。

英一 ……

声 ちゃんとしとこう。なめられるけ。

英一 姉ちゃんはいつも、世界はぜんぶ敵みたいに話す。

俺は姉ちゃんの前では、いつも何もしゃべれなくなる。

茂子 ならまた電話するけね。ちゃんと出らなよ。

英一 ……うん。

パチンパチン

打たれ続けるオセロ。

◆排水溝

声 320、退室されました。清掃お願いします。

銀次 入室！

英一 にゆうしつ！

銀次 ストップパー！！

英一 ストップパー！

銀次 窓開け！

英一 窓開け！

銀次 風呂場！

英一 風呂場！

銀次 毛！

英一 毛！

2人 よし！

英一、風呂場へ。と、

英一 ああ。
銀次 何？
英一 なんか、風呂場の排水溝が。
銀次 ん？

ガボ…ガボ…と、今にも吐きそうな音を立てている排水溝。

英一 入ったときから違和感があった。薄くお湯のたまった床。掃除しようとして蛇口をひねると、またたくまにそのへんは洪水になってしまった。

どぶのようなとろみのある水が、たぼん、たぼんと揺れ始める。

銀次 わかった。

英一 ？

銀次 俺やるから小郡さん、部屋やっというて。

英一 了解。

英一 鏡を磨き、掃除機をかけ終わって…風呂場を覗いた。銀次は、半身ぐっしりになりながら、排水溝に手を突っ込んでいた。

銀次 お…お…おおおおお！

英一 ？？

汚水がゴゴゴと吸い込まれる音。

たぶんたぶんとしたビニール袋を右手で抱え、左手を添えて出てくる銀次。

英一 何？

銀次 コンドーム。中身入り！（顔の前に突きつける）

英一 わ。

銀次 何個あったと思う？

英一 さあ。

銀次 6個！すごいね！絶倫だね。

英一 へえ。

銀次 小郡さんなら何個？

英一 うるさいな。

銀次（鼻歌まじりに、ゴム手袋を外す。弾みでビニール袋がやぶれ、異臭のする中身が手につく）

英一 ？？

銀次（にやり）

英一 やめろよ…やめろ…やめろ…！

銀次、にやりと笑い、その手を英一になすりつけようと近寄ってくる。

逃げる英一。銀次、英一を部屋の隅に追い詰め、その手を英一の頭に巻いたタオルで拭う。

銀次（声にならない声で勝利の笑い）

英一 なんでそんなことするかな。

銀次 え、俺？

英一 いや、客。

銀次 そういうもん出すとだからね。…てかさ、きょう、うち来ない？
英一 え？

銀次 姉ちゃん、ちよつと元気なくて。

英一 …なんで？

銀次 スーパー、クビになっちゃって。

英一 クビ？

◆チキンカツ

紅子 きょうはチキンカツだ〜！サクサク！

食卓。「いつもの席」に座る3人。

英一 チキンカツ！

銀次 サクサク！

紅子 ではきょうもご迷惑かけます。

3人、それぞれの炭酸をぶしゅ！

紅子・英一 どきやんこつだろか、これは！

銀次 得体が知れねえ！

紅子 さあ、食べようたべよう！

英一 (一口。そのサクリさに驚く)おいしいです！

紅子 やった！サクッと揚がってるでしょ？

英一 はい！

紅子 ちよつと！あんた、そがんとこに「ほさんですよ！

銀次 (ニヤニヤしながら「ぼれた衣を床に」)

紅子 ばちん！

銀次 いひひ…

英一 …仕事のこと、聞きました。

紅子 あ、クビになっちゃった「どっ」

英一 はい。

銀次 (カツをほおぼりながら)きゅうしゅうでがっぺいするんだって。

英一 え。

紅子 (笑)吸収合併！バカだねえ、この子は…あ、でも心配しないで、次決めたから。

英一 次？どんな。

紅子 レ「ジ」。

英一 レ「ジ」？スーパーの？

紅子 それしきしらんけん。でも今度は深夜だけん時給もよかと。

英一 …バイトですか？

紅子 うん。でも頑張れば準社員になれるんだよ。働かんとね。どうした、えいいち君。

英一 なんか。

紅子 ？

英一 かつこいいですね。

紅子 あたし案外たくましいの。うぶぶ。

銀次 ねえ。

紅子 何？

銀次 どっか行きたい、3人で。
英一 え。
紅子 …それ、迷惑だよ。ねえ。(英一に)
英一 いえ!
銀次 だよ。ねえ。
紅子 ほんと?
銀次 どこに行く?
英一 映画とか、水族館とか。
紅子 デパート!
英一 え。
紅子 デパートの屋上行きたい!
英一 屋上?
紅子 小さい頃住んでたこのデパート!楽しいの、観覧車があつて、メリーゴーランドがあつて、
銀次 金魚もいる!
紅子 金魚すくい!
銀次 パンダもいる!
紅子 乗るやつ!
英一 ……そんなにいいんですか?
紅子 うん。でもいつ?
銀次 俺水曜休み!小郡さんでしょ?
英一 ああ、でも、
紅子 あたしお店9時からだから、それまでに帰ってこれれば…
英一 じゃ決まり。
紅子 でもほんと、迷惑じゃ…
英一 ……喜んで!

◆屋上

水曜日。バスセンターで待つ英一、そわそわ。
早めに来ていろいろ調べた様子。
約束の時間になり、少しおめかしした紅子と、こどものようにはしゃぐ銀次、やって来る。

英一 2人の話すデパートは…市外行きのバスに乗って一時間半。
(銀次に)JRのほうが早いんじゃないの?
紅子 バスがいいとー楽しいよ、バス!ね、いちばん後ろに座ろう、3人で!
英一 (紅子に)俺もバス、好きです。
銀次 (ニヤニヤと奥の席へ。紅子の横を空けて、英一に勧める)
英一 銀次に促されて紅子さんの隣に座る。でも、

バス発車。

懐かしい景色が見えはじめ、英一越しに、しきりに銀次に話しかける紅子。
懸命に2人の会話の邪魔にならないように姿勢を保つ英一。

紅子 あ、まだある、あの看板!夏みかんの看板!
銀次 は?あれパンペイユだし!
紅子 夏みかんだし!

銀次 あ、なんとか本舗！

紅子 彦一本舗！あそこのもなか、ばあちゃんが好きだったよねえ！

英一 新興住宅地を過ぎると、段々古びた家が目立ち、同時に田んぼが見えて来た。

声 床屋。

声 アース。

声 たんぼ。

声 犬。

声 たんぼ。たんぼ。

英一 大きな橋を渡り、田んぼの中に工場がぼつぼつ。再び新興住宅地。そして、

声 ファミレス。

声 ケンチキ。

声 えんとつ。

声 王将。

声 えんとつ。工場。えんとつ。

紅子 わあ、懐かしい！ほら、あつちに曲がると学校だよ。

英一 こころへんで育ったの？

銀次 うん。あ、たま子さんもだよ。たま子さんちはもう少し遠くだけど。

英一 そうなの？

銀次 うん、たま子さんの訛りはこころへんの方言。

英一 へえ。

小さなバスセンターで下車。いちいち小さな歓声を上げながら歩く2人。

声 シャッター。

声 八百屋。

声 100均。

声 じいちゃん。

声 シャッター。

声 ばあちゃん。

声 衣料品。

声 シャッター。

英一 小さな町の小さな商店街は、平日の昼間からシャッターが目立つ。
目指すデパートは、デパートというより大きめのスーパーといった感じだった。

景色全てを写し込むような大きな瞳で振り返る紅子。

英一 屋上はさびれていた。観覧車もメリーゴーランドもなかった。でも2人は興奮していた。

紅子 こにパーラーあったよね！銀がソフトクリーム落として泣いた！

銀次 こつから見下ろすと…あった！色っぽい人の家！

紅子 そう！（英一に）あのね、下着のお姉さんが寝てて、銀が大騒ぎ。

銀次 シミーズ。

紅子 そうシミーズ！

銀次 あ、観音保育園！
紅子 わあ、なつかしい！
銀次 なーむー。
紅子 なーむー。
2人（2人だけがわかる笑い）

英一 ブルーシートのかかったコーカート、ペンキの色あせたゲームセンター…
デパートのレストランで食事して、帰りのバスに乗った。2人ともあつという間に眠ってしまった。

帰りのバス車内。

行きとは違い、姉弟並んで座り…遊びつかれた子犬のようにぐっついて眠る2人。

と、気付けば英一の横に、たま子。

ずっとそこに居たようにバスの震動に揺られている。

英一 …居たの？

たま子（揺れながら）盛り上がったねえ。

英一 はい。

たま子 ばってん街は盛り下がったねえ。

英一（リアクション）

たま子（静かに揺れながら窓の外を眺めている）

英一 あの町育ちななの？

たま子 え。

英一 たま子さんも。

たま子 あたしはもちっと山んほう。

声 夕焼け。

声 床屋。

声 アース。

声 山並み。夕焼け。

声 小焼け。

声 夕焼け。

英一 バスを下りると、2人は子どものように手を振って帰って行った。俺はしばらくその入んをぶらぶらする「こと」に
た。

◆あいされちゃあよね

夕方の住宅街。てろてろと歩く英一。うしろからたま子。

小さな商店街。惣菜の匂い。下校途中の小学生。

陸橋の上。

たま子 ばあ！

英一 え。

たま子 あんじいさん、すげえ。（下方を指差す）

英一 ？

たま子 ほら、あそこ。自転車に空き缶積んで、

英一（指の先にみつける）…すごいですね。

たま子 耳広げた象みたいじゃね？わ、よたよたしとらす！

英一 おわわわ、危ない！
たま子 つくくるつくくる……「転がらるる」の意
2人 おおおお……立て直した模様
たま子 すかかね。

英一 はい。

たま子 何で生きとつとたろか。

英一 ……え。

たま子 あがんしてまで、何で生きていきつとたろか。

英一 ……

たま子 ……思いよった。

英一 ……

たま子 くそすかーん！

貧乏人とか、弱あ奴とか、みつともにはあ奴とか、超すかん！なんで生きとつとたろかて思いよった。

英一 ……

たま子 そしたら自分がいちばんみつともにはあ死に方してね(笑)

英一 ……

たま子 あがんなっても、あいされちゃあかね。(「愛されたいかね」の意)

英一 ？

たま子 あたしんごたる人間から、こがん見らるつこつなっても、やっぱあいされちゃあかね。

英一 ……

たま子 ま、あいされちゃあよね。

英一 ……

たま子 あいされちゃあよね、誰だつてね。

英一 (真似る)あいされ、ちゃあよね。

たま子 もう価値にやあて思われても、思われるがつかかなかつなっても、誰だつちゃ、あいされちゃあよね。

英一 ……はい。

たま子 運動してよか？

英一 え。

たま子 なんかモイモイする。

英一 もいもい？

たま子 行きまーす。ファイ！

たま子、わしわしと力強く、スクワットを始める。

しゃがむたびにスカートがバフバフと音を立てる。

夕焼けの色、深く。

たま子 あー、吠えたい！吠えていい？

英一 え？

たま子 吠える。(遠慮がちに、探るように)……あおーん……あおーん……

英一 たま子さんは吠えた。やせた犬みたいに吠えた。

たま子 (夕焼けにあがる花火のように高らかに)あおーん！

と、近所の犬が吠え出す。

たま子 (もう一発！)あおーん！

声 あおーん！
声 あおん、あおん、
声 きやいん、きやいん、

英一 近所の犬たちが反応した。それがおかしくて、泣きそうになった。

◆介護説明

英一 翌日、姉からメールが来た。

声 グループホームの
声 先生から
声 重要な
声 説明が
声 ある
声 そう
声 です

英一 姉のメールには句読点がない。それが何とも無機質で苦手だった。

指定された医院の診察室。

既に姉が来て医者話を聞いている。

遅れて、恐縮しながら椅子に座る英一。

と、久しぶりに見る姉の背中「硬さ」から目が離せなくなる。

医師 万が一のときどうされるかの確認をさせて下さい。

茂子 万が一と言いますと…

医師 どのくらいまで延命の処置…つまりチューブで栄養を送ったり、呼吸器をつけたりするの、ですね。

英一 ……

医師 もうこの高齢でいらつしやいますし、自然に任せて、という場合も、ですね。

茂子 ああ。

医師 どうされますか。

茂子 あ、長男が。

英一 ……

茂子 英一。

英一 え？

茂子 英一。(返事を促す)

英一 (よくわからないまま、生返事)あ、じゃその、それで。

茂子 (信じられない、とこいた顔で英一を凝視)

英一 え？

医師 お姉さんもそれで。

茂子 あ、はい。……はい。

英一 医者への反応から、ほとんどの家族が同じことを言うのだろうと思った。姉は深々とお辞儀をした。
その背中は、母親にそっくりになっていた。

医院の外。灰色の寒空。

茂子 あんた、きょう車なんやろ？

英一 車、売ったんよ。

茂子 は。

英一 俺、会社やめたんよ。

茂子 は。

英一 今、熊本におるんよ。ちよつと気分変えようと思てから。

茂子 仕事は？

英一 うん。バイト…みたいな。

茂子 バイト？

英一 でもウエブで連載始めたんよ！これがうまく行ったら、次につながるし、

茂子 次で何。

英一 後輩が独立してるとんよ、そこからちよ「ちよ」仕事もらえそうやし。あと…

何べらべらしゃべってるんだらう。スカスカの見栄。何べらべら並入ってるんだらう。

茂子 (ため息)英一。

英一 ……

茂子 ちゃんとして。

英一 ……

茂子 ああ…もう、なんもいいことないわ…！

声 ああもう、

声 なんも

声 ない

声 わ

窒息しそうな気分で帰途。

と、電話。

◆都合

後輩 実は、お願いして「た」コラムの件なんですけど。

英一 え？

後輩 予算の見直しがあつて…いや、「こ」存知の通り、「ど」もいろいろ厳しくて。

英一 (察して)ああ。

後輩 一旦中止なんで、打ち切りじゃないんで。

英一 いいよいいよ、気にしないで。俺も楽しかったし。

後輩 機会があつたらまた是非お願いします。まじ是非！

英一 「機会があつたら」と言われた後に機会はない。

後輩 てかまじ苦しいっすよ。俺もラフホでバイトする日、遠くないかもです。

声 イライラ！

英一 楽しいよ。何かあつたら相談に乗るから。

後輩 お願いします。

声 イライライラ

声 いじい……

後輩 てか、重原部長のこと聞かれました？

英一 え。それは共通の上司。

後輩 心臓。突然だったらしいです。葬儀、行かれますか？

英一 どうしようかな。

後輩 詳細送りますね。あ、ほんと機会があったらまた！

英一 うん、また。(切る)

たま子 なんさい？

たま子。

英一 え。

たま子 死んだ人。

英一 50、かな。

たま子 早かね。

英一 だね。

たま子 行かんでよかと？葬式。

英一 うん。

たま子 ま、どんツラ下げて行くかてね。

英一 ……

たま子 みーんな、いろいろあるもんね。てか、友達で減るよねえ！

英一 え。

たま子 あたしの葬式。何人来たと思う？

英一 ともだち？

たま子 7人！小中高合わせて7人！

英一 微妙(笑)

たま子 皆忙しかもんねえ。てか、あたしも、友達の披露宴とライブかぶったとき、迷わずライブ取ったもん。

英一 ライブ。

たま子 すかんち。

英一 微妙！

たま子 あんま言えんけどね。好きだったけん。

英一 (笑)

たま子 ま、しょんなかね。

英一 ？

たま子 終わってしまったら、もうなんもかんもしょんなか。…ああ、モイモイすつ。

英一 え。

たま子 ファイ！

スクワットを始めるたま子。

スカート、バフバフ。

英一 元気ですねえ！

たま子 生命力の名残り？

英一 電池の残量みたいな。

たま子 やめて。

力あふれるたま子を見て、楽しくなってくる英一。

英一 たま子さん！

たま子 はい！

英一 なんでここに居るんですか？

たま子 あたしもわからん！

たま子を眺める英一。

それを眺めながら、一連の習慣のようにポケットからスマホを取り出し、スクロールし始める。
と、ポキーン…とコメント音。

英一 ？

◆黒いカキコミ

声 コラム読みました。底辺生活を楽しんでる旅行者みたいで、とてもいやな感じがしました。

英一 なぜだろう、1日に何時間も眺めていると、嬉しくないコメントは、黒っぽく浮き出して見えるようになる。

声 それ、なんとなくわかります。

声 本気で関わる気はない、ってことですよ。

英一 やばい。やばいやばい…お茶でも飲もう、あれ？お茶ってどうやって入れるんだっけ？お茶っば、急須、

湯のみ、どうすればいいのか混乱して、気付けば湯のみにお茶っば入れてた。こりややばいと思った。
んと思った、あれ？俺ダメかもしんない。

声 いいね、いいね、いいね、

英一 よくない…んでもってこんなときに限って、

声 きょうからアジア出張！新規開拓頑張ります！

声 ネイル変えました！やっぱりテンション上がります！

声 遂に婚約しました！世界でいちばん幸せ！

英一 他人のページがまぶしすぎて、かと言って現実に戻る気分にもなれなくて、ネットをさらさらと眺め続ける。

同じくネットをたゆたう人々…の間をたゆたう英一。

英一 …気がつけばぼーっとネットを眺めて…3時間。まじっ…なんだこの時間！

ふと思いついて、銀次のページに飛んでみた。あの、ふざけたプロフィール写真の横には、

声 基本データ

声 住んだことのある場所

声 熊本市

声 性別

声 男

声 勤務先

声 なし

声 出身校

スーパーの裏口。

扉を開けて出てくる紅子。手にはホット甘酒の缶。

紅子 おまたせええ！寒いね。はい、あまざけ。あまいよ！うふふ。

英一 ……

紅子 飲んでのんで。ぬくもるよ。

英一 ……

紅子 どうした？えいいち君。

英一 ……なんでそんなにいい人なんですか。

紅子 え。

英一 だって、紅子さんのミスじゃないじゃないですか。

紅子 見たの？はつかしい！制服タサいでしょ？あの三角形の帽子、あれみたいじゃない？大阪のなんかほら、太鼓

叩くめがねの人形…

たまらず抱きしめる英一。

紅子 ……どうした、えいいち君…どうしたどうした…

英一 がんばりますから。

紅子 え。

英一 がんばりますから！

紅子 ……うん…がんばれがんばれ。…ちょっと待って、うん、ちょっと、

きつく抱きしめている英一の腕をはずし、近くのダンボールの上に甘酒を置いて向き直る紅子。

紅子 ようし！どら、だっこさせろ。よし来い。

小さな身体全身を使って、英一を抱きしめる紅子。

紅子 (背中を叩き、あやすように) はい、えいいち天才、えいいちいい子、えいいちえいいち！

揚げ物のおいにする紅子の抱擁、しばし。

紅子 ……いい子ねえ…

きゆうう、と英一の襟足を抱きしめる紅子の指。

再び背中をぽんぽんと叩いて身を離す。

紅子 んなら戻るね。

英一 ……はい。

紅子 がんばんなっせ。そして。

英一 ……

紅子 帰んなっせ。

英一 ……

紅子 ちゃんとして、かちやの国に帰んなっせ。

英一 ……

紅子 ふあいと！

あどけない笑顔で手を振り、店内に戻っていく紅子。

見送る英一。

◆ライフル

声 213退室されました。清掃お願いします。

銀次 入室！

英一 にゆうしつ！

銀次 ストップパー！

英一 ストップパー！

銀次 窓開け！

英一 窓開け！

銀次 風呂場！

英一 風呂場！

銀次 毛！

英一 毛！

2人 よし！

銀次、鏡に。英一、ベッドシートに。それぞれの作業。と、

銀次 (鏡のほうを向いたまま)小郡さん。

英一 ん？

銀次 姉ちゃんが旦那さんに呼び出されたの。

英一 え。

銀次 今夜、行くみたい。

英一 ……

銀次 (ぐるりと向き直って)連れ戻しに行かない？2人で。

英一 ……

銀次 武器持って！ライフルとか、チェンソーとか、さすまたとか！

英一 ……

銀次 ……うそ。しきらんけど。

英一 俺は無理だよ。

銀次 なんで？

英一 帰れって言われた。

銀次 かちやの国に？

英一 うん。

銀次 そっか。

英一 ……うん。

銀次 ……

英一 ……

銀次 15分！退室！

英一 退室！

銀次、退室。

追って英一…と、たま子。

たま子 なーんで行くとかな。

英一 ？？

たま子 なーん変わらんごてから。

英一 ……

たま子 あんたの方がよかて決まっとるてからね。

英一 それはないです。

たま子 なんで。

英一 俺、逃げるから。

たま子 ……そうね。

英一 そこ否定するところでしょう。

たま子 (笑)

英一 たま子さん。

たま子 ほい。

英一 俺、もう頑張れんかもしれん。

たま子 まじ？

英一 うん。

たま子 なら死ぬたい。

英一 え。

たま子 死ぬばええたい。

英一 ？？

声 いろいろ……

たま子 見苦しか。

声 いろいろ……

たま子 だーれも必要としらんばい。

英一に回かっているようで、その眼は違う誰かに向けられている。

たま子 なんで生きとつとかな……

たま子 なんで生きとつとかな……

たま子 そがんなってまで、なんで生きとつとかな……

声 いろいろ……

いろいろ……

電車が止まるような、耳に痛い軋み音。

たま子 ごめんごめん……

英一 ？？

たま子 ごめんごめんごめん……

走り出すたま子。追って、英一。

◆歩く

深夜の繁華街。たま子の姿を見失わないよう、追っかけ続ける英一。

声 すたすたすた。
声 た、た、た、た、
声 バー。
声 ネオン。
声 コンビニ。

いつの間にか英一の手を握っているたま子。早歩きですたすたすた。

英一 たま子さんに手を引かれ、2人で夜の街を歩いた。歩いた。歩いた。

声 ホステス。
声 客引き。
声 千円ぼつきり。

英一 誰も俺を見ない。それが寂しくてらくちんで、なんだかおかしかった。たま子さんは一ヶ月、ずーっとこうやって歩いてたんだろうか。

声 ドンキホーテ。
声 ホスト。
声 泥酔。
声 ふらふら。

早歩き、すたすたすた。

気付けば英一がたま子を引つ張っている。

突然、たま子がガクンと崩折れる。

驚いて振り向くと、枯れ木のように生気が消えているたま子。

英一 だ、大丈夫ですか？
たま子 ……

英一、たま子を支え、飲み屋のビルの階段に座らせる。明け方。

声 朝帰り。
声 カラス。
声 生ゴミ。

無言で壁に寄りかかるたま子。不安が募る英一。と、

たま子 腹減った…

英一 ええ？

たま子 腹減った……

英一 ええええええ？(爆笑)

たま子 (薄く笑う)

英一 何が食べたいですか？

たま子 おじつてくれると？

英一 何でも！

たま子 じゃあ……

「いちばん食べたいもの」を探っている様子。

しかしその横顔からとんとん「水気」が消えていく。

胃の辺りがよじれるような思いでその横顔をみつめる英一。

たま子 お好み焼き。

英一 よっしゃー！

お好み焼きを焼く「じゅ」。

最高の材料で、最高にうまそうなお好み焼きを作り始める英一。

キャベツを刻み、卵を割り入れ、かき混ぜる。

壁にもたれながら、薄目の笑顔でそれを見ているたま子。

英一 卵、特別に3個！あと山芋！これ入れるとふわっふわになりますからね！あと、何入れますか？

たま子 (乾いた唇で笑いながら) 豚……

英一 豚！よっしゃ、豚バラ、カリッカリにしちゃいますね、あと餅！俺大好きなんですよ、これもここに……

ガターンー！階段から滑り落ちるたま子。

英一 たま子さん？？

抱き上げて座らせる。もう首を立てる気力もない様子。

英一 もう少し！もう少しだから！ソースは？

たま子 ……たっぷり。

英一 はい、たっぷり！どろソース！カツオ踊ってますよ！青海苔かけて……マヨネーズ……出来た！

「出来立てアツアツ」を小さく切って口元に持っていく英一。

頑張っって首を立て、はふはふと口に迎え、噛み、飲み込むたま子。

英一 イカ焼き！

たま子 ……

英一 イカ焼きも作ろう！俺、イカ大好きなんです！簡単なんですよ、焼くだけ！すぐ出来るから！

イカを焼く「じゅ」。

たま子 (それを薄目で見ながら) ……ごめんね。

英一 え？

たま子 さっき。

英一 いえ！

たま子 あっで思い出した。

英一 ……

たま子 前も同じ「じゅ」言った。

英一 誰に？

たま子 絶対、言うたらいかん人に。

英一 ……

たま子 絶対、言うたらいかん人に。

英一 …きゅーってってます！イカがきゅーって！もうすぐ！焼けた！出来たあ〜！

イカを小さく切り、口元へ。

「電池の残量を振り絞って、首を上げ、口を開け、噛み、飲み込むたま子。朝焼けの光に、カラッカラに乾いたたま子の肌が光る。

英一 うまかろ？

たま子 (ゆっくり、でもしっかり噛み締めながら) うみやあよ。

英一 ええねえ。

たま子 ええど〜(笑)

英一 …もう生きてないたま子さんの心は、こっぴどく生きています。俺も生きたい！なんだかわからないけど、とにかくそう思った。

◆バケツ

館内電話でクレームを受けているらしいおば①。

おば① 312のテレビがつかんて。

銀次 リモコン電池、チェックしたよ。

おば① ばってんつかんて。行ってみて。

銀次、乾電池を持って出て行く。

英一 銀次は帰って来なかった。そして、

再びクレーム電話。おば②。

おば② もうひとり、来てて。

英一 え。

おば① 行ってみて。

おば② 何かあったっじゃなかるかね。

312。英一、ノック。

男の声 (低く、傲慢な大声) 入れえ！

英一 失礼しまあ〜す。

…部屋に入って絶句した。脂ぎった…中年の男性と、これまたたるたるの身体の女性が交わってた。ベッドから少し離れた窓際の椅子に銀次は座っていた。

あの…

男 見とけえ！

英一 は。

男 よかけん、見とけえ！

はーはーはーと、中年男女の息遣い。

銀次 こっぴどく人いるんだよね。

英一 え。

銀次 見てもらおうと興奮するんだって。

声 はーはーはー

声 はーはーはーはー

英一 銀次が立ち上がった。バスルームから水の音がした。ほどなく銀次はバケツにこぼれるほどの水を汲んで…

ベッドの2人にバケツの水をぶちまける銀次。

男 なーんすつとかああああ！

銀次、ケダモノのような様相で叫ぶ。

男に殴られる銀次。

即座に男を殴り返し、以降、その殴打が止まらなくなる。

銀次が自ら強く封じ込めていた「危うさ」のタガが弾け飛ぶ。

止めねば…と思うも足がすくんで動けない英一。

そんな英一を突き飛ばして…たま子。

銀次の襟首を掴み、向き直らせ、殴打。

部屋の隅にふっ飛ぶ銀次。

瞬間、眼が合ったたま子と銀次。

もう会えないと思っていた姿を目撃する銀次。

もう会ってはいけないと思っていた姿を見せてしまったたま子。

呆然と眺める英一。

◆通用口

その日の夕方。ラブホの通用口。

制服のままの英一。

私服に着替えた銀次、殴られたアゴの状態をガクガクと確認している。

その横の植え込みに、すっかりしおれてしまっている、たま子。

銀次 (いひひと笑う) しめんね。

英一 いや、俺こそ。

銀次 ……

英一 店長、なんて？

銀次 ……また仕事探さなきゃ。

英一 ……

銀次 お客さん殴っちゃダメだよな。

英一 ……

銀次 姉ちゃんさ、連れてかれちゃった。

英一 ……

銀次 ……

英一 ごはん代、払わなきゃな。

銀次 もらっていいのかな。

英一 もらってくれると、楽になる。

銀次 俺も、楽になる(笑)ひとり暮らしになるし。
英一 ……

銀次 (突然、空中に向かって)たま子さん！

英一 ……？

たま子 ……？

銀次 たま子さん！小森田、たま子さん！

銀次、いろんな方向に声を掛ける。

たま子、大慌て。おたおたと英一の背中に隠れる。

銀次 (空中に向かって)さっきはありがとうございました！

たま子 ……？

銀次 俺、ばあちゃんとかえちゃん以外の女の人に殴られたの、初めてです。

たま子 (ひたすら恐縮して無言のお詫びを繰り返す)

銀次 それともうひとつ……

たま子 ……？

銀次 俺のはだか、まだ見たいですか。

たま子 (…「見たい」)

英一 ……？(たま子の激しいリアクションにびっくり)

銀次 (その英一を見てびっくり)

英一 (慌てて通訳する)…あ、「見たい」って。

銀次 まじすか。

銀次、何の躊躇もなくシャツを脱ぐ。

真面目な労働で鍛えられた美しい筋肉。

たま子 (「わああああ」と、大喜び！)

英一 (そのたま子にびっくり)…しながら通訳(「わああああ」)

銀次 え？

英一 いや、たまさんが。

たま子 (「ぐっどぐっど」)

英一 (「ぐっどぐっど」)

銀次 え？

英一 だから、たまさんが。

たま子 (思いついて見たいポーズ①)をおねだり。「こんな感じ、でお願いします」

英一 (そのポーズ①を真似る)「こんな感じ、お願いします」って。

銀次 え？

英一 いや、俺じゃなくて、たまさんが！

銀次 (仕方なくポーズ①)

たま子 (「わああああ」)もんどり打って大喜び。背中の筋肉を指して「ここが、ここがすいー」

英一 「わああああ、ここが、ここがすいー」

銀次 ええ？

英一 いや、俺じゃなくて！

たま子 (続いて「見たいポーズ②」をおねだり。「次、これをお願いします」)

英一 (そのポーズ②を真似る)「次、これをお願いします」って。

銀次 ええええ？

英一 いいからー！
銀次 はずかしくないの？
英一 いいからやれよ！
銀次 (仕方なくポーズ②)
たま子 (「おおおおお！」悶絶して大喜び。「これも、これもすーいー！」)
銀次 (わけもわからないまま、ポーズをキメ続ける)

母性やら恋心やら、いろんな思いの対象だった若者を眺めるたま子。

たま子 ……きれいかよ。

英一 ……

たま子 健康な、若者だ。

そのたま子を見て、涙が止まらなくなる英一。

英一 ……寝めてる。

銀次 (何だか照れくさい)……気に入ってもらえたんならよかったです。

たま子 ……

銀次 (空中に向かって)たま子さん！

たま子 ……

銀次 コリコリとうもろこし君のお客さんに怒鳴り込んでくれて、ありがとうございます。

たま子 ……

銀次 さっきも、止めてくれてありがとうございます。

たま子 ……

銀次 ……嬉しかったです。

たま子 ……

銀次 ……たま子さん。

たま子 ……

銀次 ファイト！

たま子 ……

銀次 ファイト！ファイトファイトファイト！ちゃんとファイト！

若い体躯全身から搾り出すようにエールを送る銀次。

英一もたまらず、

英一 がんばれー、がんばろー、がんばれー、ファイト！ファイト！

たま子に、銀次に、姉に、後輩に、自分に、過去に、未来に、エール。

そのエールを受け、スクワットを始めるたま子。

バフバフと、スカート。

たま子 (またまた夕焼けにあがる花火のように)あおーん！

と、近所の犬が吠え出す。

たま子 (もう一発！)あおーん！

声 あおーん！

声 あおん、あおん、
声 きゃいん、きゃいん、

近所の犬の遠吠え。

驚いて見回す銀次、何となく理由を察して。

深まる夕方。銀次、英一に向けて、深々とお辞儀。

立ち去る銀次。その背中に向けて、更に深いお辞儀をする英一。と、

◆願い

たま子 ねえ。

英一 ？

たま子 迷惑かけてもよかですか。

英一 え。

たま子 迷惑、かけてもよかでしょうか。

英一 何。

たま子 連れてって欲しかとこがあるんです。

英一 ……

たま子 ひとりじゃ行つきらんけん、連れて来て欲しかとです。

英一 ……？

手を伸ばすたま子。つられて手を差し出す英一。

その英一の手をぎゅっと握るたま子。

初めてたま子の「体温」を感じて、胸がしめつけられる英一。

と、すたすたと歩き出すたま子。

引かれるままに、英一。

◆電池の残量

職員① ともだち？

職員② そう、小森田さんの娘さんの。

職員① まあまあ！なら市内から？

英一 はい。

職員① 遠いところを、どつも。

老健施設。

英一 清潔な、明るい空間。幼稚園のように、折り紙や塗り絵や習字が貼り巡らされていた。幼稚園と違うのは、どこからか排泄物と消毒薬のニオイがすることだった。これまた清潔で明るい廊下を進むと、「その人」の部屋があった。

職員① 小森田さん、お客さんよ！

英一 そこには粘土のような肌が薄く骨に張り付いた、やせこけた女性が眠っていた。

入れ歯の入ってない顔は、口だけがぽっかりとあいて、赤い舌がぬめぬめと動くのが見えた。

俺の背後で、たま子さんがぎゅっと固くなった。

職員② 小森田さん！

英一「その人」はうつすらと目を開けた。黒目、と呼ばれる部分がほとんど灰色に薄れていた。

たま母 たま子ね。

職員② たま子さんのお友達でたい。

たま母 たま子ね。

英一「その人」にはたま子さんが見えていた。のだと思う。

たま母 おとうさんは迎えに行かなんね。煮しめば炊かなんけんね。たま子にはんじんば太う切らなんたい、

英一「その人」は、ぬめぬめした舌を出し入れしながら、脈絡のないような、あるような話を続けていた。

視線は常に、僕のうしろに向けられていた。

職員① 小森田さん、もう帰んなはるてたい。

職員② よかったね、小森田さん。

たま母 んなら煮しめば詰めていかなんたい。煮しめば持って行きなつせ。(手にぎゆうっと持ったタオルを)

職員① 小森田さん、そらタオルたい(笑)

英一・たま子 …

と、たま子の母親、「電池の残量」「生命力の名残」を振り絞るような声で、

たま母 …たま子お！

英一・たま子 ……？

たま母 元気でおらなんばあい。

職員① ばあ、ふとか声の出たねえ、

職員② よかったねえ、小森田さん。

◆日常

英一 翌朝、目覚めたら、たま子さんがいなくなっていた。よくな気がした。

声 312退室されました。清掃お願いします。

英一 じゃ行きまああず、入室！

声 にゆうしつ！

英一 ストップパー！！

声 ストップパー！！

英一 窓開け！

声 窓開け！

英一 風呂場！

声 風呂場！

英一 毛！

声 毛！

英一 バスタブ磨き！

声 バスタブ磨き！

英一 トイレ！

声 トイレ！

英一 便器磨き！

声 便器…毛！（地雷を発見した兵士のように意気ヨウヨウと）

英一 毛…フロア！

声 フロア！

英一 毛！

声 毛！

英一 コップ！灰皿！（洗う）

声 シーツ！ガウン！タオル！タオル！（リネン袋に放り込む）

2人 ベッドメイキング！（二人で）

声 15分！

英一 退室！

声 退室！

新人バイトと2人組。

新人 …あの！すいません！

英一 何すか。

新人 これ。

英一 ああ。

新人 あの。

英一 うんこすね。

新人 ……あの。

英一 きょうは俺やるんで。鏡とかやって下さい。

新人 …よくあるんですか、こいつらなの。

英一 ですねえ。

新人 なんでベントに。

英一 いろいろあるんじゃないすか、人によつて。

新人 でもひどくないですか。いくらそついでとすする場所だとしても。

英一 そついでもん出すとこですからね。

新人 え。

英一 こい。

新人 でも。

英一 それ片付けんのが仕事ですから。

英一の「日常」が続いて行く。
オセロ、パチンパチン。